

令和 5 年 3 月 10 日

立川市長  
清水庄平 殿

厚生産業委員会  
委員長 大沢純一

## 障がい児・者及び家族等が 新型コロナウイルス等に感染した場合の 支援体制整備を求める要望書

立川市議会は令和 3 年度「市民との意見交換会」を通じて、コロナ禍において障がい児・者及び家族が感染した場合に、安心して療養できる環境整備を求める当事者の声を聞きました。

家族介護者が新型コロナウイルスに感染(陽性)となったものの在宅療養が求められ、障がい児・者の介護等を十分にできる状況にない場合に、障がい児・者を受け入れることができるショートステイ先や療養施設等の体制整備を求めるものです。

これに対しては立川市として、市外施設も利用できるよう対応してきたことは市議会としても認識をしていますが、新型コロナウイルスの感染が一定の収束に向かっている今、次の感染症拡大に備えることが必要だと考えます。

よって下記について要望します。

### 記

障がい児・者及び家族等が新型コロナウイルス等に感染した場合の対策や対応について、コロナ禍での状況をあらためて精査し、必要な支援体制を早急に検討し整備すること。

以上